



# とうえい

令和6年6月21日  
東栄小学校  
学校だより第3号

## 東栄っ子は、おそうじ上手！



こんなに汚れてしまったトイレのスリッパの裏。それを6年生が嫌がることなく、すすんで汚れを落としてくれます。すると、こんなにきれいになりました。

このことに象徴されるように、東栄っ子たちは、ふだんなかなか気づかなかつたり、届かなかつたりするところの汚れを見つけて、きれいにしてくれます。

消火栓ボックスの上にたまったほこりや、分電盤ボックスについたほこりに気づいて水拭きしてくれたり、渡り廊下の開いた扉と壁の間の狭いところの床や、洋式トイレの後ろと壁の間の狭いところの床まで工夫してきれいにしてくれたりします。



体育館の渡り廊下、引き戸のレールにたまった、なかなか取り切れない砂を手で取ったり、ぬれ雑巾で取ったり、手洗い場の排水口の中のふたまで取り出してきれいにしてくれたり、中にはトイレットペーパーを三角折りにしてくれたりする子もいます。



そして、うれしいことに、高学年の影響を受けて低学年の子どもたちが同じようにきれいにしようとしてくれます。例えば、トイレのスリッパの裏。2年生や3年生の子どもたちが6年生と同じようにきれいにしてくれました。こうして、おそうじ上手が受け継がれていきます。

「おそうじ」は「あいさつ」同様、ありがとうプロジェクトには欠かせない大切な実践です。「おそうじ」は人の役に立ち、人に喜ばれ、そこを使う人にとって「ありがとう」となります。そして何より、「おそうじ」をした人が、一番気持ちよく、喜ばれてうれしくなって、元気になります。東栄小をきれいにするのも東栄っ子。きれいにしたところを使うのも東栄っ子。東栄っ子たち、みんなで「きれいにしてくれて、ありがとう」と伝え合ったら、ますます「ありがとうの花」があふれ、どんどんうれしくなって元気が出てくる幸せな学校になっていくことまちがいないです。引き続き、ありがとうプロジェクトへのご協力をお願いいたします。



※「おそうじ」は養護教諭の指導のもと、衛生面に十分気をつけて行っています。

(校長 中島学路)